

別紙

参考 「まちなかミマモルメ」の概要 <https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/>

まちなかに設置されたカメラとビーコンのインフラ網を利用し、お子さまや高齢者を見守ります。

【特徴】

- ① ビーコンの発信器（タグ）を持ったご家族が、設置されたビーコン受信器付近を通過するとアプリ・メールでお知らせします。また、すべての受信器またはミマモルメ推奨（学校や公園、駅付近等）からの通知の有無を設定できます。
- ② 一般的なビーコンの発信器（タグ）のセキュリティの脆弱性を解消した独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが最大の特長です。



登下校メール（導入校：約 1, 900 校、約 31 万人が利用）のノウハウを活かし、校門だけでなく「まちなか」に利用シーンを展開させたものが「まちなかミマモルメ」です。アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知によりお子さまや高齢者の居場所を把握することができます。BLE（Bluetooth Low Energy）を用いていますので、スマホでも読取り可能で、各自治体でのボランティア活動にもご利用いただけます。

また、その利用の簡便性が故に存在する BLE のセキュリティの脆弱性に対して、みまもりに利用するための独自セキュリティを組み込んでおり、安心してご利用いただけるのが「まちなかミマモルメ」の最大の特長です。

2016年3月に兵庫県伊丹市、同年4月に京都府長岡京市、2017年9月に大阪府大東市、2018年4月に兵庫県加古川市、2020年4月に三重県木曾岬町、2023年4月に奈良県三郷町に導入、2025年4月には兵庫県播磨町で導入いただく予定です。

●発信器



小型・軽量
独自セキュリティ組み込み

●受信器



万が一ご家族が迷子になられた場合は、迷子の方の情報をボランティアへ送信し、捜索に協力のお願いができます。

一般ボランティア

協力要請があった場合受の登録信機として捜索に参加します。
アプリをダウンロードすることで一般ボランティアになることができます。

登録ボランティア

事前に自治体等への登録が必要になります。
協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。
迷子の方の情報を受け取ることができ、迷子の方の発信器を受信した場合は、協力要請者へ電話でお知らせすることができます。（※1）

登録ボランティアを利用する場合は、ID/パスワードが必要になります。

（※1）協力要請者が電話番号を公開した場合

